

【検査受付可能日】

日曜日および祝日とそれらの前日は受付できませんので、ご了承ください。

【検査依頼書】

遺伝子解析検査をご依頼の際は、所定の依頼書をご利用ください。

検査項目分類	対応する依頼書
白血病関連遺伝子 免疫関連遺伝子再構成 その他造血器腫瘍 癌関連遺伝子 ウイルス関連遺伝子	遺伝子検査依頼書
トリプレット・リピート病遺伝子解析 先天性ニューロパチー遺伝子解析 家族性腫瘍遺伝子解析 ミトコンドリア遺伝子解析 その他遺伝学的検査	遺伝学的検査依頼書【遺伝子検査】
ジストロフィン遺伝子解析	遺伝学的検査依頼書 【先天異常 染色体検査】
※専用依頼書のある項目 「NCCオンコパネルシステム」, 「ArcherMET (CDx) 遺伝子変異解析」, 「肺癌マルチCDx 遺伝子解析」, 「マイクロサテライト不安定性検査」, 「TTR 遺伝子変異解析」など	

『遺伝学的検査依頼書【遺伝子検査】』を利用する項目およびTTR遺伝子変異解析については、検査に当たり、被検者へ十分な説明を行ってください。被検者ご自身の承諾が文書で得られた場合にのみ、検査を受託します。

依頼書の被検者名はプライバシー保護のため、**匿名化**をお願いします。また、検査前後の被検者への十分なカウンセリングを併せてお願いします。

日本肺癌学会バイオマーカー委員会「肺癌患者におけるALK融合遺伝子検査の手引き」のALK遺伝子検査アルゴリズムに準じた検査をご依頼の際は、別途専用依頼書を用意していますので、営業担当者にお申し付けください。

【検体量】

遺伝子解析の実施に当たっては、抽出されるDNAあるいはRNA量を一定取量以上に確保する必要があります。そのため、各項目ごとに明示された提出検体量に不足がないようご注意ください。

【検体採取・保存方法】

- 末梢血：各項目指定のEDTA-2K容器（容器番号13, 17）, EDTA-2Na容器(容器番号14, 89)にて採取後、各項目指定の方法で保存。
 ※EGFRコバスv2およびC797Sは容器番号17をご利用ください。
 ※NCCオンコパネルは容器番号13をご利用ください。
 その他の項目はEDTA加血液であれば2K, 2Naいずれでも結構です。AML FLT3変異解析の場合は、ヘパリン容器（容器番号10）またはEDTA-2Na容器（容器番号14, 89）をご利用ください。
 採血の際は容器の規定量をお取りください。
- 骨髄液：採取後直ちに骨髄保存容器（容器番号22）に移注後、冷蔵（4℃）保存。
- 組織：滅菌スピッツ（容器番号27）の項目→深冷凍結（-70℃以下）保存。組織保存容器（RNA安定化剤入り）（容器番号43）の項目→冷蔵（4℃）保存。
- その他の材料は総合検査案内の各検査項目欄をご確認ください。

【所要日数】

案内書記載の所要日数には、再検査の日数は含まれていません。遺伝子解析では検査方法、検体材料種などの要因から増幅不良により再検査を必要とする場合があります。再検査の場合や日曜日・祝日の前後は、実際のご報告までの日数が所定日数を超過する場合がありますのであらかじめご了承ください。

【検査終了後の検体保管】

検査受付日より、元検体は1カ月、抽出した残DNA・残RNAは6カ月保管後、順次焼却処分します。

なお、検査終了後に直ちに返却を希望される場合は、あらかじめ検査依頼書ヘッダ返却欄の「要」に○印を記入しご指示ください。

* 遺伝学的検査ご依頼時の元検体は2カ月保管します。

【その他】

検体は、他の検査ご依頼用とは別に、単独検体としてご提出ください。末梢血および骨髄液については、採取後、24時間以内に弊社中央総合ラボラトリーまで搬入されるようお願いいたします。針付きの注射筒のままのご提出は非常に危険ですので、ご遠慮願います。